

日本臨床心理学会 第59回大会 プログラム

2月17日(土)		会場	テーマ	話題提供者(ゲスト)
1	10:00-12:00	504 + 505	児童福祉施設で暴力なしで暮らすための試み ——安全委員会方式の導入から	小笠原 寛 本多 悠一郎 (岡崎平和学園 岡崎市)
2	10:00-12:00	404	こころの病気と共に 地域で暮らす ——ピアサポーターの活動をとおして	岡田 智子 濱崎成人 梅花薫 辻圭一郎 (ICCG コミュニティケアセンター 伊丹市)
3	10:00-12:00	405	関係の世界へ ——危機に瀕する私たちが生きのびる方法	鮫島 輝美 (関西医科大学・理論看護学/集団心理学)
4	10:00-12:00	406	自主シンポジウム(応募者枠)	
5	13:00-16:30	504 + 505	司会	羽下 大信 (大会長)
			▼クロストーク・セッション▼ ケアあるいはサポート ——アマチュアリズムと専門性から	松嶋 健 (広島大学・文化人類学/医療人類学) 桜井 智恵子 (関西学院大学・教育学/社会思想史)
2月18日(日)		会場	テーマ	話題提供者(ゲスト)
6	9:30-11:30	504 + 505	パートナーシップと家族の多様性を考える ——セクシュアル・マイノリティの視点から 司会:奥田 由子	梨谷 美帆 (カウンセリング・ラボ SORA 大阪市) 樋口 亜瑞佐 (愛知教育大学・臨床心理学)
7	9:30-11:30	404	精神科病院での人権侵害をなくすために ——尊厳が守られて、安心してかかれる 精神保健を考える 司会:にら こと 重沢 明	有我 譲慶 当事者 たにぐちまゆ (大阪精神医療人権センター) 高橋 亮也 (兵庫県精神医療人権センター)
8	9:30-12:00	405	対話反想法とグループ・リフレクティングで パワーをめぐって考えるPTMFを実践的に学ぶ	滝野 功久 (いさく) (イサクプレイワーク主宰)
9	10:00-11:00	406	▼個別発表▼ インクルーシブ教育の現在	田中 佑弥 (山口短期大学・子ども支援研究)
	11:00-12:00	406	▼個別発表▼ 精神科<造形教室>で表現すること ——生きる意欲をもたらすプロセス	藤澤 三佳 (京都芸術大学・社会人間学)
10	12:00-14:00	504 + 505	不登校の子どもがつくる・子どもとつくる 司会:矢野 良晃 (For Life)	中林 和子 ほか (フリースクールForLife 神戸市)
11	12:00-14:00	404	▼自主シンポジウム▼ →→→こちらは発表の取り消しになりました 病棟コミュニティの文化を変える「対話」の仕組み ——緩和ケア病棟を多方向支援的に変容させた ナラティブ・アプローチ	田代 順 (ナラティブ・アプローチ研究室/対話ラボ) 大西 郁子 (東京成徳大学大学院博士課程/ 東京都スクールカウンセラー)
12	12:00-14:00	405	▼個別発表▼ これからの臨床心理学 ——心理職の国家資格化の経緯から考える	岩田 光宏 (大阪経済大学・臨床心理学) 宮脇 稔 (元大阪人間科学大学・臨床心理学)
13	12:00-14:00	406	ヒアリング・ヴォイシズ ——「幻聴」という精神医学用語から「声が聞こえる」 という体験の言葉へ	佐藤 和喜雄 藤本 豊 Pさん ゲスト:根間あさ子 李マリジャ 楠田 慧 (ヒアリング・ヴォイシズ研究会)
14	14:30-16:45	504 + 505	学会定期総会	
2月16日(金)		会場	テーマ	話題提供者(ゲスト)
15	20:00-21:30	オンライン	これまでの臨床心理学を脱いだら、何が見えるか ——精神科診断に代わるフレームワーク、 PTMFをめぐってその解説と議論	石原 孝二 (東京大学・哲学)

★ 大会関連企画 ★ 延期:近いうちに日を変えてご案内します。

3月2日(土)→延期		会場	テーマ	話題提供者(ゲスト)
16	13:00-17:30	西宮市大学交 流センター (ACTA西宮 東館6階)	もっと別な(オールタナティブな)見方やりが 立ち現れる ほぐしばい(フォーラムシアター)を学ぶ	滝野 功久 (いさく) (イサクプレイワーク主宰)